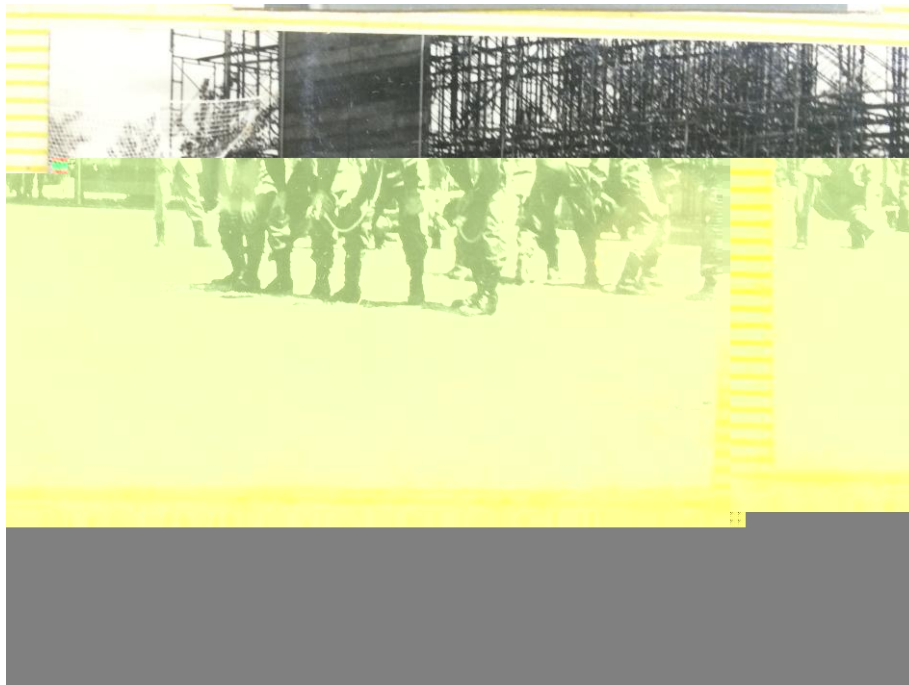


特別救助隊の歴史

昭和48年（1973年）

4月 本部に特別救助隊を設置し、人命救助体制の強化を図る。



昭和52年（1977年）

10月 消防本部・署の一部機構改革を実施する。（両署に配備された救急・救助係を本部に吸収し、新たに「特別消防隊」を設置）



昭和54年（1979年）

4月1日 消防本部の機構を一部改正する。
警備課に「警備係」と「救急救助係」を置く。

6月25日 守口市門真市消防組合水難救助隊を設置。隊長以下27名で編成する。



昭和57年（1982年）

1月28日 特別消防隊に救助工作車及び消防ポンプ自動車 CD-I 型を購入配備

昭和61年（1986年）

2月12日 15M 級梯子車を購入。特別救助隊に配備し、中高層建築物の救助、防御体制の強化を図る。

10月1日 守口市門真市消防組合水難救助隊設置規程の廃止。（特別消防隊に集中一体化し掌理するもの）

平成元年（1989年）

4月1日 特別消防隊（1部・2部）を特別救助隊「救助（第1・第2）係」に改称。

12月16日 電源照明車を購入、特別救助隊に配備する。

平成2年（1990年）

11月5日 国際花と緑の博覧会よりポンプ付救助工作車（2型 AI 型）及び救急車の寄贈を受け、特別救助隊に配備する。

平成7年（1995年）

1月17日 阪神・淡路大震災の発生に伴う災害応援派遣（1月29日まで）

平成12年（2000年）

7月4日 水難救助用の救命ボート更新

平成13年（2001年）

4月1日 海外で大規模な災害が発生した時に国際協力を積極的に対応するため、本消防組合においても8名の国際消防救助隊員を消防庁に登録し、4月1日より活動する運びとなる。

4月24日 国際消防救助隊員に国際消防救助隊員証及び表示章が消防庁から交付される。



10月23日 本部に水難救助兼後方支援車を購入配備する。

平成14年（2002年）

12月18日 本部の電源照明車を電源照明機能付救助工作車に更新配備する。

平成15年（2003年）

12月18日 本部の救助工作車を更新配備する。

平成16年（2004年）

10月21/22 兵庫県豊岡市水害に緊急消防援助隊を派遣

台風23号豪雨による兵庫県豊岡市水害に緊急消防援助隊大阪府隊44隊
153名が出動し97名を救出する。なお、本消防組合より2隊（水難救
助車・人員搬送車）7名を派遣。現地において水没した住宅から10名の
要救助者を救出した。



平成17年（2005年）

2月23日 本部の15M級梯子車を更新配備する。

平成23年（2011年）

3月11日 東日本大震災の発生に伴い緊急消防援助隊大阪府隊が出動。本消防組合も3隊（救助部隊・消火部隊・救急部隊）13名を派遣し、岩手県釜石市、大槌町を中心に人命検索活動、救急搬送活動を実施する。

第1次隊：3月11日～15日

3隊（救助部隊・消火部隊・救急部隊）13名

第2次隊：3月13日～3月20日

3隊（救助部隊・消火部隊・救急部隊）13名

